

総務文教常任委員会

平成29年度一般会計補正予算

主な内容	情報通信施設管理運営費	1,000万円	草峠の電柱移設費
	(株)アロマ田沢湖無利子貸付金	3,000万円	経営改善への貸付金
	文化財管理費	98万円	松本家の自動火災通報設備の設置料

ここが知りたい 議論のポイント

平成29年度予算 主な質疑

質問 災害の時に電柱の不具合が起きたという説明だが、市の施設だとすれば保険は下りるのか。

答弁 保険の対象外の工事になる。草峠付近の電柱で、田んぼと川の間点に立っていた電柱が水害でえぐられたことにより傾いたので、N T Tが自腹で応急処置を行っている。

大雨になった時に、また被害に遭う可能性がある。旧西木村の国道105号線沿いの電柱は、徐々に国道に移設する傾向にある。

今回は、その一環で、約1.1kmの延長となる工事費という事で、保険の対象にはならなかった。

質問 貸付金3,000万円の具体的な用途はどうなっているのか。

答弁 3,000万円のうち、平成21年に借りた残債が275万円あり、この残債を繰り上げ償還する。

また、社員の確保と従業員の待遇改善に500万円、営業活動及び広報活動に200万円、その他は、通年の支払いに充て、資金面の担保を確保しながら、安定的な経営を行っていく。

質問 (株)アロマ田沢湖で指定管理及

び業務を受託している施設が7施設もある。このことが、経営を圧迫している理由と考えるし、管理が行き届いていない施設もある。今後、どのように対応するのか。また、不採算部門は今後どうするのか。

答弁 指定管理を受けている施設については、全体的な業務体制を見直し、来年度において業務内容を精査する。他の民間事業者に移譲出来るものは移譲し、業務のスリム化を図っていく。不採算部門については、特に、ハートハーブの温室・ガーデンの新たな活用について、市と協議し、来年度中に生産性のある活用策を取りまとめ、見直しを図っていく。併せて閉鎖中のハートハーブの活用策を検討する。

質問 経営改善に向けた、明確な戦略が不足している。ハートハーブにしかない目玉商品や体験の創出が間違いない必要だ。経営改善に向けた本気度が見えないが、今後どのようにしていくのか。

答弁 今後の経営改善に向けては、これまでの品ぞろえを抜本的に見直し、地場産品に特化したコーナーを拡充するなど、ここでしか購入できない商品、特産品の開発、仙北市産の農産物の販売、レストランでのメニュー開発を積極的に進めていく。

3年以内には、明確な方向性と結果を必ず出す。

質問 松本家の自動火災通報設備設置にかかる費用は、県からの補助もあるという説明だが、補助率はどれくらいか。

答弁 建物ではなく施設の整備なので正式な補助の基準はないが、県の予算の中で調整し、15〜20%程度だと考えられる。



■抜本的な経営改善が望まれる(株)アロマ田沢湖

市民福祉常任委員会

平成29年度一般会計補正予算

主な内容

仙北市湯ったり生き生き温泉入浴事業費

521万円

ヘルスツーケアリズム事業に関連し、70歳以上の方を対象に温泉入浴券を配布し、市内第3セクターの温泉施設3か所へ入浴していただくと共に、入浴前と入浴後のストレスチェックを試験的に行う事業。

ここが知りたい 議論のポイント

平成29年度予算 主な質疑

質問 なぜ補正対応なのか。緊急性があるのか。試験をする以上、様々な準備をし、当初予算で行うべきではないか。

答弁 地方創生交付金を活用し、エビデンスを蓄積するため、ストレス測定データを取得する機材を購入する準備をしている。機材は、2月くらいに入る予定である。その後の2月、3月の時期にデータを取得し、平成29年度事業の実績を国に出さなければならぬ。タイミングとしては、機材が入る時に、市民の皆様から協力をいただいで一定規模の試験を行うとすれば、今回の補正予算でなければならぬ。かつたという前提がある。いずれにしても、ただ機材を購入したという事だけで終わる訳にはいかない事業が横で動いている事実もある。

質問 70歳からにした理由は。現役世代の状況をしっかりと掴んだ試験もしていかないと、後々、

事業として展開していかないとではないか。

答弁 ヘルスツーケアリズム推進に係る基本計画を策定した委員の方々の議論で、介護保険適用の話しや、前期・後期の高齢者医療の対応等を考えていくと70歳くらいが適切との判断があった。また、市民団体からも市内第3セクターの温泉施設を利用した健康増進のモデル的な取り組みとして、70歳以上の温泉無料化に向けた取り組みがでないかという要望が240名の署名と共にあった。医学的な判断と市民の方々の要望が同年代だったため、今回は、70歳以上の方々に事業に参画いただきたいと考えた。

40代から60代の方々については、現在、協議会・ワーキンググループで具体的な方策を練っており、来年度に検討する事になっている。

質問 民間の温泉も産業振興の側面から利用するべきではないか。3年の中で、民間の温泉を利用する考えはあるのか。

答弁 基本方針を策定した委員の中で、市民の方々が足しげく行ける平地という考えがあった。



■(株)アロマ田沢湖が引き続き指定管理をする東風の湯

また、簡単な測定機械と言いつても、市民の方々に協力してもらわなければならず、民間の温泉事業者にもなかなかスタート時点でお願ひするのは難しいのではないかと話があった。

市が出資している第3セクターであれば、お願ひを受け止めてくれる素地ができています。もあり、3か所というイメージになった。この試験が拡大して行く事が望ましいが、温泉の泉質のバリエーションも見ながらという事になると思うので、全てという事にはならないと思う。

財政面からもそのような判断にならない。

公の施設の指定管理者の選定について(市民浴場東風の湯)

質問 株式会社アロマ田沢湖を指定し、指定期間は5年としているが、仮に指定した会社の経営状況が悪化した場合、指定管理者が代わる事も考えられると思う。契約の中に、そういう条文はあるか。

答弁 今回は指定しただけで、契約の締結はこれからとなる。条文を加えるかについては、今後、検討したい。

産業建設常任委員会

平成29年度仙北市一般会計補正予算

主な内容	農地利用最適化交付金事業費	89万円
	12月20日より新制度に移行となる農業委員、農地利用最適化推進委員の報償費	
	条件不利農地を担う経営体支援事業費補助金	60万円
	中心経営体、担い手事業者が対象。中山間地エリアが条件。1年目10アール1万円で60ヘクタール分	
	駅前広場施設管理運営費	382万円
4月1日から市内3観光協会が統合し角館駅前スタシオンを事務所とするための改修費		
自然ふれあい温泉館維持管理費	395万円	
アルパこまくさに蒸気ボイラーを設置		
急傾斜危険区域工事費負担金	1,200万円	
7月に発生した豪雨災害対策。西木町字桧木内山口地区に落石防護、法面对策等の工事費6,000万円の内の20%が市の負担となる		

ここが知りたい
議論のポイント
平成29年度予算主な質疑

質問 スタシオンを事務所とする経緯は。

答弁 3観光協会から、市の施設を使いたいとする申し出があった。

質問 具体的な改修内容は。

答弁 スタシオンは、待合室、喫茶店として利用した場所がある。喫茶店側を事務所とする。間仕切りをして壁を作り、クロスを張る。給水設備に不具合があるので改修したい。トイレは、駅や蔵のトイレを使用する事として、トイレを外して物置とする。

質問 事務所には何人入るか。

答弁 8人の予定である。当分は、支部体制で、カタクリ館・フォレイク・蔵の案内所の業務は継続となる。

質問 内陸線でスタシオンを活用の申し出はなかったか。

答弁 会社側と話し合いはしている。活用したい話はなかった。

公の施設の指定管理者指定 (30年4月1日から5年間)

◇外町交流広場

指定者 立町商店会

◇かたまえ山森林公園、西木山の幸資料館、西木森林学習交流館

指定者 田沢湖自然体験センター

賛成討論

西木観光協会から請願として出されている経緯がある。

詳細な選定の内容や地元の方々の思いを伺い、山の幸資料館やエリア全体の整備について、西木観光協会や地元の方々の思いをくみ取った形で維持管理に努めて頂きたい。

請願(2件)

◇米の生産費を償う価格下支え制度を求める請願(採択)

(願意) 30年度から政府による生産調整が廃止され米価不安定要因になりかねない。生産者米価と生産費の不足分を償う下支えをする制度が必要である。

(結果) 農業従事者の確保の観点からも必要であるとし全会一致で採択。衆参両院議長への意見書提出。

◇瀧前山森林公園指定管理の選任について(不採択)

(願意) 維持管理、経営を西木町観光協会に許可していただきたい

(結果) 指定管理選考委員会の結果(田沢湖自然体験センター74点 西木観光協会66点)を重んじた。

訂正とお詫び

48号産業建設常任委員会で、平成29年度仙北市水道事業会計補正予算は一般会計補正予算の誤りでした。訂正してお詫びいたします。